

子ども、若者の居場所に関する未来

10代、20代が対象の施設が誕生

10代のたまり場ができている

中心市街地に若者がいっぱい歩いている

若者の活動を後押ししてくれる場所がある

若者が集える場所や機会が多い

世代間で気軽に交流できる居場所がある

大人の目を気にせず、思い切り遊べる場所がある

知らない人とも気軽に交流できる場所がある

子どもと大人と一緒に楽しめる場所がたくさんある

夏も冬も使える総合型施設が誕生

学びたいことが学べる場所がある

障害のある子どももいろいろなことに参加することができる

こどもがいろいろな職業体験が行える

子どものやりたいが叶えられるまち

子育てに関する未来

子どもがいろいろな体験ができる

将来に不安がなく子育てができる

親の送迎資金に対する不安がない

若者のやりたいことを制限しないまち

出生率が全国1位

部活動をしている学生の割合が全国1位

部活動に対する移動手段が充実している

街中に教育施設や子育て施設がある

長野の子どもは健康日本一

子ども、若者の長野市に対する気持ちに関する未来

こども食堂がたくさんある

こども服などがリサイクルされる環境が整っている

若者が戻ってきたいと思うまち

長野市の魅力を言える子どもがたくさんいる

全国から若者が集まるまち

子どもたちに農業体験が充実したまち

若者の貧困・支援に関する未来

こどもの自治会が設立

子どもが夢を持てるまち

子どもの意見が反映されているまち

子どもの声を聴ける大人が増えている

歩道が広くて、歩行者や自転車にゆとりがある

アニメなど、新たな文化が創造されて「楽しいまち」

市民参加が教育活動として定着している

ニーズをしっかり把握できるまち

その他に関する未来

ITリテラシー教育が充実している

自殺する人が減る

SNSやいじめに関する未来

● 子ども・若者分野で特に重要視された未来

世代間で気軽に交流できる居場所がある

子どもと大人が一緒に楽しめる場所がたくさんある

大人の目を気にせず、思い切り遊べる場所がある

10代のたまり場ができている

若者が集える場所や機会が多い

子どもの意見が反映されているまち

子どもの声を聴ける大人が増えている

こどもの自治会が設立

子どもがいろいろな体験をできる

子どもが夢を持てるまち

子どものやりたいが叶えられるまち

部活動をしている学生の割合が全国1位

将来に不安がなく子育てができる

- ・ 中学生・高校生の居場所があると、リアルでもっと集まれる
- ・ 子どもの声を聴けるようになることで、大人同士で会議をするような場に子どもが来れるようになる
- ・ 子どもの柔軟性のある意見、突発的な意見も大事
- ・ 体験、活躍することで育ち、子どもが主役のまちになる。
- ・ 個人個人が自分のままで大丈夫と思うことができれば、SNSに依存しなくなる

子ども、若者が主役



教育

学校教育に関する意見

こどもの教育費が無料

学校間の交流が盛んなまち

中学、高校では英語による授業が行われている

プログラミングなどのデジタル教育が進んでいる

長野市多くの外国人留学生がくるまち

若い人の多くが外国へ留学するまち

学校を楽しんでいる生徒が増えている

少人数クラスの学習が行われている

教職員に関する意見

様々な職歴の教員がいる

教職員の指導レベルが向上している

教育学部にとらわれず教師になるまち

教職員が5時に帰宅できる

教職員が本音で話し合える場所ができている

ニーズに合った新しい分野の教育機関ができる

経済格差により学べない人がいないまち

生活費に困らず大学生活を送れる

高等教育（大学）に関する意見

社会教育に関する意見

リスケリングリカレントの講座が多数開かれている

大人に対する教育が充実したまち

認知症や障害に対し理解のあるまち

世代間で気軽に自由に学べる場所がある

公民館活動に学校教育がある

いつでも、どこでも学べる環境が整っている

不登校、いじめに関する意見

発達特性に理解があるまち

障害があっても一緒に学べるまち

やりたいことがどこでもできる教育環境が整っている

学校が楽しいという生徒が多い

その他に関する未来

著名人が排出されるまち

スポーツを中心とした教育が行われている

SNS犯罪に子どもが関わらないまち

スマホについて地域全体で考えるまち

部活の地域展開に関する意見

大人が関わらなくても子どもたちで展開できる

やりたい部活動が市内にある

部活動の加入率が全国1位

部活動に移動がなく、学校でできる

学業と部活動が両立しやすいまち

部活動も無償化し、誰にでもチャンスがあるまち

参加者が部活動を作り上げている

● 教育分野で特に重要視された未来

学校を楽し
いと思える
生徒が増え
ている

少人数クラ
スの学習が
行われてい
る

参加者が部
活動を作り
上げている

世代間で気
軽に自由に
学べる場所
がある

いつでも、ど
こでも学べ
る環境が
整ったまち

公民館活動
に学校教育
がある

生活費に困
らず大学生
活を送れる

- ・ 子どもにとってやらされる学びではなく、自由な教育。
- ・ お金に困らず大学生活を送ることで、自分の学びたいことをみつけられる。
- ・ スポーツを中心とした学びができると良い。
- ・ 10代の学生の中に職歴がある人がはいてくると周囲にとっても学びが違う。
- ・ 子どものやりたいベクトルに合わせた社会教育。
- ・ 公民館活動を行う人がそろくと、子どもたちの居場所づくりができてくる。

多様な世代が
自由に学べる環境



人手不足や福祉情報に関する意見

AI等を活用したロボット機器により負担が少ない

施設職員が適切に配置されている

福祉分野の仕事の魅力が広がっている

ペットOKの公園が増えている

高齢者、介護に関する意見

おじいちゃんおばあちゃんになるのが楽しみなまち

施設への入居に困らないまち

高齢者も働けるまち

親の介護に対する不安が少ないまち

介護にかかる費用の心配がない

介護施設でなくても生活が送れる

歳をとっても楽しいまち

健康寿命がさらに延びる

障害者、バリアフリーに関する意見

オールバリアフリーなまち

障害者にも暮らしやすいまち

自分自身も障害者になるかもしれない意識が浸透したまち

障害理解や多様性が魅力のまち

インクルーシブ教育が進む

だれでも生活しやすいまち

その他に関する未来

みんなに優しいまち

福祉分野でAIやデジタルが活用されている

シングルマザーが困らないまち

自動運転バスなど、移動手段のICT化が進んだまち

自転車に乗りやすいまち

運転免許を返納しても困らないまち

公共交通機関が乗り放題

買い物に困らない交通手段があるまち

高齢者・障害者でも移動に困らないまち

地域内の関係に関する意見

世代間で交流できるまち

地域内でコミュニケーションが充実している

広い世代が活躍できるまち

高齢者が孤立しないコミュニティが形成されている

ジェンダーに関する意見

性別でいろいろなことを諦めることがない

性教育が充実したまち

女性の活躍が当たり前のまち

議員の男女比が半々なまち

● 福祉分野で特に重要視された未来

歳をとっても楽しいまち

健康寿命がさらに延びる

みんなに優しいまち

広い世代が活躍できるまち

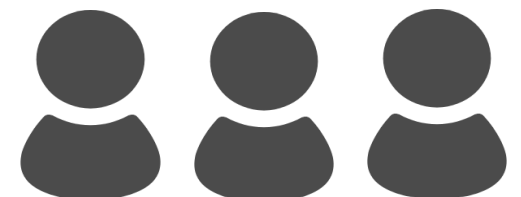
世代間で交流できるまち

インクルーシブ教育が進む

障害理解や多様性が魅力のまち

- ・ 個々の違いに対する教育や理解が進めばいろんなことが解決する。
- ・ お年寄りと子供と一緒に活動することで、世代間の理解が深まる。
- ・ 子どもたちがいろんな世界を体験することで知る機会がある。
- ・ AIや技術が進歩すれば高齢者や、障害者がもっと活躍できる

多様な主体が活躍



健康に関する意見

自殺者が少ないまち

医療費の心配なく受診できる

個人の医療データを基に健康管理が進んでいる

心の健康について相談できる場所がある

心の健康に対する教育環境が充実している

敷居が低く、相談できる場所がある

食事で健康管理できるまち

100歳まで元気に歩けるまち

健康寿命が延びる

医療スタッフの不足に関する意見

医療スタッフ間に男女差がないまち

医療スタッフが長野市で住むことを希望している

世代間で一緒に学べる機会がある

市内の医療機関に関する意見

医療機関に行きやすい公共交通機関が整備されている

中山間地域の医療体制が充実している

遠隔でも、都市部の医療機関を受診できる

オンライン診療が一般的になっている

精神科病院、救急が整っているまち

適切な薬が安定的に供給されている

病院で待ち時間なく受信できる

医療機関が、入院に困ることがない

大規模病院では、高度な医療が確保されている

その他に関する意見

病院のお世話になる前に養生する

運動施設が増えている

無痛分娩が普及したまち

学校に行かなくても健康について学べる場がある

認知症に対する理解が進んだまち

安心してお出かけできる地域の場所がある

● 健康・医療分野で特に重要視された未来

健康寿命が延びる

病院のお世話になる前に養生する

心の健康に対する教育環境が充実している

心の健康について相談できる場所がある

100歳まで元気に歩けるまち

食事で健康管理できるまち

運動施設が増えている

- ・ 「心と身体はつながっている」ので、両方の取り組みが大切。
- ・ 自分で歩けるようにすることは大切。
- ・ 「心の健康」を保つことで、自殺率の低下も期待できる。
- ・ 給食を通じた食育が行われることで、食生活による健康づくりができる

心も身体も健康

